

25周年記念

—富山発信・現代美術—

# 2018

アート エクス トヤマ

# ART/X/TOYAMA

## 第8回 富山国際現代美術展

### 4.28(土) ⇨ 5.6(日)

AM10:00→PM6:00(最終日はPM5:00まで) 5月1日(火)休館

会場 新川文化ホール

〒937-0853 富山県魚津市宮津110  
TEL0765-23-1123 FAX0765-23-0534

入場無料

主催：富山国際現代美術展実行委員会・公益財団法人富山県文化振興財団 新川文化ホール

共催：富山県・魚津市・魚津市教育委員会・北日本新聞社

協賛：新川文化ホール振興協議会

後援：文化庁・富山県芸術文化協会・富山県美術連合会・魚津市文化協会  
富山 ロシア協会・砺波市トルコ友好交流協会・魚津市日中友好協会  
NHK富山放送局・北日本放送・富山テレビ放送・チューリップテレビ・NICE TV  
出品参加国大使館または領事館



【お問合せ先】富山国際現代美術展実行委員会事務局  
〒937-0053 富山県魚津市村木9-10 TEL 0765-24-9830 FAX 0765-22-8475  
URL <http://art.p-alpha.ne.jp/> E-mail [art@p-alpha.ne.jp](mailto:art@p-alpha.ne.jp)



25周年記念  
—富山発信・現代美術展—

2018 ART/X/TOYAMA  
第8回 富山国際現代美術展

会期 2018年4月28日(土)～5月6日(日) 5月1日(火)休館  
AM10:00～PM6:00 (最終日はPM5:00まで) 入場無料  
会場 新川文化ホール (魚津市)

多様化した現代美術。その中で、ART/X/TOYAMAは富山県という地方都市に制作の場をもつ作家たちが、新しい波動を起こそうではないかと県内・県外及び海外の作家たちに呼びかけ、作り上げてきた“富山発信”の現代美術展です。

1993年、1994年、1997年に富山市、2002年、2006年、2010年、2014年に魚津市で開催し、発表活動の輪は県外はもとより海外にも広がり、情熱と可能性を秘めた展覧会として注目と好評を得てまいりました。

未知なるもの“X”への挑戦、美術家の更なる熱意と期待は大きく、2018年4月にART/X/TOYAMA・第8回 富山国際現代美術展を開催します。



2014年第7回展会場

● 国際アートシンポジウム “地域性と現代美術”

パネリスト 清水 康友氏 (美術評論家)  
出品参加国代表

日時：4月29日 (日・祝) PM2:00～4:00 場所：201会議室



● アートセッション 清水康友氏と出品者

日時：4月30日 (月・振休) AM10:00～11:30 場所：展示会場

参加自由

● みんなでアートしよう！出品作家といっしょに何ができるかな？

(こどものためのワークショップ・参加自由)

日時：4月30日 (月・振休) PM2:00～3:30 場所：野外 (雨天の時は館内)



25周年記念

● 市民のための文化講演会 “表現とは？”

講師 長澤 忠徳氏 (武蔵野美術大学学長)

日時：5月3日 (木・祝) PM2:00～4:00 場所：小ホール (入場無料・要整理券)

主催：魚津市文化協会／富山国際現代美術展実行委員会

整理券取扱場所：新川文化ホール・魚津市社会教育課

併設展覧会

- こどもたちの国際絵画展 4月28日(土)～5月13日(日) ミラージュギャラリー
- 出品作家によるチャリティー小品展 4月28日(土)～5月5日(土) 201会議室
- トルコのアーティスト3人展 5月1日(火)～4日(金) AM10:00～PM5:00 北日本新聞本社ギャラリー (富山市安住町)

富山国際現代美術展実行委員会事務局

〒937-0053富山県魚津市村木9-10/パレットハウス内 TEL:0765-24-9830 FAX:0765-22-8475  
ホームページ <http://art.p-alpha.ne.jp/> E-mail [art@p-alpha.ne.jp](mailto:art@p-alpha.ne.jp)

出品者

- 日本
  - 浅野 則夫 富山
  - 旭 晃子 富山
  - 石 潤子 富山
  - 大久保 隆文 富山
  - 大平 獎 東京
  - 大村 雅章 石川
  - 小笠原 義博 富山
  - 加賀谷 武子 富山
  - 金谷 範子 新潟
  - 加茂谷 正俊 手取
  - 楠本 恵子 茨城
  - 熊木 保子 富山
  - グアリノ 亜季 富山
  - 斉藤 晴之 富山
  - 佐藤 カオル子 茨城
  - サトル・タカダ 茨城
  - 島崎 俊哉 富山
  - 菅野 純子 富山
  - 住田 繁喜 富山
  - 大門 俊彦 富山
  - 高橋 俊明 富山
  - 鷹嘴 直 富山
  - 高畑 信雄 富山
  - 武内 厚子 富山
  - 武内 良文 富山
  - 武部 眞 富山
  - 田中 千賀子 富山
  - 中川 セツ子 新潟
  - 長田 達明 富山
  - 根尾 幸津子 富山
  - 中村 恵 富山
  - 長谷川 翔吾 富山
  - 古田 恵子 富山
  - 本間 恵子 新潟
  - 松井 利昭 富山
  - 松川 美喜子 石川
  - 松村 直樹 富山
  - 三浦 一希 富山
  - 吉川 信一 富山
  - 吉澤 繁子 富山
- フランス共和国
  - Anthony Bourdeau 富山
  - Hiçako Perardel 富山
  - Les Semeurs 富山
  - Sonia Bourhis 富山
  - Sophie Papiou 富山
  - Sylou Le Rhun 富山
- トルコ共和国
  - Ahmet Özel 富山
  - Bahri Genç 富山
  - Feride Binicioğlu 富山
  - Müfit İşler 富山
- ドイツ連邦共和国
  - Claudia Thieme 富山
  - Monika Ledig 富山
  - Peter Ledig 富山
- 大韓民国
  - 黄学萬 Hwang Hak-man 富山
- ロシア連邦
  - Anna Parmenova 富山
  - Vera Stakheeva 富山
- 中華人民共和国
  - 張昆 Zhang Kun 富山
  - 周巧云 Zhou Qiao-yun 富山
  - 黄佳 Huang Jia 富山
  - 李全民 Li Quan-min 富山
  - 盧偉旋 Lu Wei-xuan 富山
- スペイン
  - Dimitri Xato 富山
- ポーランド共和国
  - Anna Daria Merska 富山
- オランダ
  - Ron Weijers 富山
- スロベニア共和国
  - Anka Krašna 富山

25周年記念  
 一富山発信・現代美術一  
 Message from Toyama Contemporary Art  
**2018 ART/X/TOYAMA**  
 第8回 富山国際現代美術展  
 8<sup>th</sup> Toyama International Contemporary Art Exhibition

芸術文化振興基金助成事業  
 公益財団法人松翁記念財団 国際交流助成事業  
 魚津市 助成事業 富山県 助成事業 新川文化ホール振興協議会 助成事業

2018年4月28日(土)ー5月6日(日) 5月1日休館  
 AM10:00~PM6:00 (最終日はPM5:00まで) 新川文化ホール  
 sat. 28 April 2018-sun. 6 May 2018  
 open from 10:00~18:00 every day except Tue. 1 May Niiakwa Bunka Hall



出品参加国 フランス/トルコ/ドイツ/韓国/ロシア/中国/スペイン/スロベニア/オランダ/ポーランド/日本 11カ国 67人 出品者の皆さん participated artists

● 室内展示 1 ー 新川文化ホール



● 室内展示 2 — 新川文化ホール



● 室内展示 3 — 新川文化ホール



● 室内展示 4 — 新川文化ホール



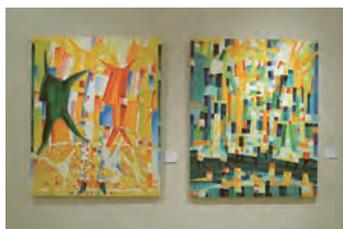
● 野外展示 — 新川文化ホール



● パフォーマンス — Les semeurs (レ・スモール)



● 展示作品



01 Ahmet Özel (トルコ)



02 Anka Krašna (スロベニア)



03 Anna Daria Merska (ポーランド)



04 Anna Parmenova (ロシア)



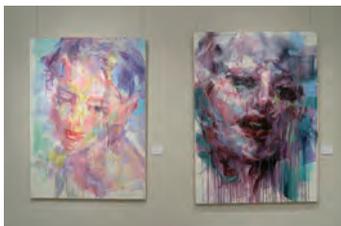
05 Anthony Bourdeau (フランス)



06 旭 晃子 (富山)



07 浅野 則夫 (富山)



08 Bahri Genç (トルコ)



09 Claudia Thieme (ドイツ)



10 大門 俊彦 (富山)



11 Dimitri Xato (スペイン)



12 Feride Binicioğlu (トルコ)



13 古田 恵子 (富山)



14 グアリノ 亜季 (富山)



15 長谷川 翔吾 (富山)



16 Hiçako Perardel (フランス)



17 本間 恵子 (新潟)



18 Huang Jia (中国)



19 Hwang Hak-man (韓国)



20 石瀨 順子 (富山)



21 加賀谷 武 (富山)



22 加茂谷 正俊 (岩手)



23 金谷 範子 (新潟)



24 熊木 保子 (富山)



25 楠本 恵子 (茨城)



26-① Les Semeurs (フランス)



26-② Les Semeurs (フランス)



26-③ Les Semeurs (フランス)



27 Li Quan-min (中国)



28 Lu Wei-xuan (中国)



29 松井 利昭 (富山)



30 松川 美喜子 (石川)



31 松村 直樹 (富山)



32 三浦 一希 (富山)



33 Monika Ledig (ドイツ)



34 Müfit İşler (トルコ)



35 長根尾 幸子 (富山)



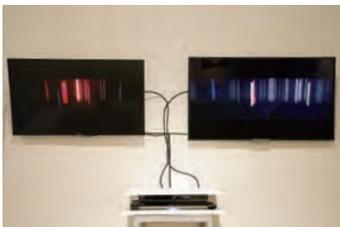
36 長田 達明 (富山)



37 中川 セツ子 (新潟)



38 中村 恵津子 (富山)



39 小笠原 義博 (富山)



40 大平 奨 (東京)



41 大久保 隆文 (富山)



42 大村 雅章 (石川)



43 Peter Ledig (ドイツ)



44 Ron Weijers (オランダ)



45 斉藤 晴之 (富山)



46 サトル・タカダ (茨城)



47 佐藤 カオル子 (富山)



48 島崎 俊哉 (富山)



49 Sonia Bourhis (フランス)



50 Sophie Papiou (フランス)



51 菅野 純子 (富山)



52 住田 繁喜 (富山)



53 Sylou Le Rhun (フランス)



54 鷹嘴 直 (富山)



55 高橋 俊明 (東京)



56 高畑 信雄 (富山)



57 武部 真理子 (富山)



58 武内 厚子 (富山)



59 武内 良文 (富山)



60 田中 千賀子 (富山)



61 Vera Stakheeva (ロシア)



62 吉川 信一 (富山)



63 吉澤 繁子 (東京)



64 Zhang Kun (中国)



65 Zhou Qiao-yun (中国)

● 国際アートシンポジウム “地域性と現代美術” — 新川文化ホール  
 パネリスト：清水 康友氏（美術評論家）・出品参加国代表  
 日時：4月29日（日・祝）PM2:00～PM4:00 場所：201会議室（参加自由）



● アートセッション — 新川文化ホール 清水康友氏と出品者  
 日時：4月30日（月・振休）AM10:00～AM11:30 場所：展示会場（参加自由）



● みんなでアートしよう！ 出品作家といっしょに何ができるかな？ — 新川文化ホール（こどものためのワークショップ・参加自由）  
4月30日（月・振休）PM2:00～PM3:30 野外（雨天の時は館内）



● 富山国際現代美術展・併設展覧会 こどもたちの国際絵画展(スペイン・トルコ・スロベニア・ロシア・中国・ポーランド・ドイツ・日本)  
4月28日(土)～5月13日(日) 新川文化ホール ミラージュギャラリー



● チャリティー小品展 (201会議室) — 新川文化ホール



● トルコのアーティスト3人展「モーメント」 — (日時：5月1日(火)～4日(金) 場所：北日本新聞本社ギャラリー)



● 開会式 — 新川文化ホール 日時：4月28日(土) AM 10:00



● 4月28日 交流懇親会 — 新川文化ホール リハーサル室



● 5月1日 遠足 — 高岡



瑞龍寺



御車山祭り

● 5月2日 魚津市庁舎訪問



魚津市に作品寄贈 — 初参加のロン・ウェイエス作品（オランダ）

● 4月25・26・27日作品搬入・展示作業



● 5月3日 魚津市文化協会と交流 — 新川文化ホール ロビー



● 25周年記念 市民のための文化講演会“表現とは？” — 新川文化ホール 講師：長澤 忠徳氏（武蔵野美術大学学長）  
日時：5月3日（木・祝）PM2:00~PM4:00 場所：小ホール（入場無料）



武蔵野美術大学学長 長澤 忠徳氏

● 5月5日 折り紙ワークショップ



● 5月1日 餅つきパーティ（市民との交流）― 天神山交流館



● 5月5日 ファイナルパーティ ― 天神山交流館



本場のクレープを作るフランス作家



二胡を奏でる中国人留学生



● 5月6日最終日 ― 新川文化ホール



# 魚津で来年4、5月 富山国際現代美術展



第1回実行委員会開催に当たり、あいさつする鷹嘴実行委員長(左から3人目)＝新川文化ホール

## 実行委が初会合

第8回富山国際現代美術展「富山発信・現代美術」2018 ART/X / TOYAMA (アート・エクス・トヤマ)の第1回実行委員会が18日、魚津市の新川文化ホールで開かれ、来年4月28～5月6日に同所で開催することを決めた。国内外の作家が集い、実験的、野心的な作品を発表する。同実行委員会、同ホール主催、県、魚津市、市教委、北日本新聞社共催。

県内を拠点に活動する作家が国内外の作家を招聘し、現代美術に新しい波を起そうと1993年に始まった。近年は4年に1度開催し、前回の2014年は国内の43人、海外9カ国の25人が参加し、平面や立体など幅広いジャンルの作品約200点を屋内外に展示。今回は25周年の記念展となる。

第1回実行委では、開催要項や組織体制などを確認。実行委員長は鷹嘴直さん(魚津市)、副委員長は高畑信雄さん(射水市)と大久保隆文さん(魚津市)、運営委員長は吉川信一さん(砺波市)、事務局長は菅野純子さん(魚津市)が務める。

# 25周年彩る野心作期待

市が務める。

この日を含め開幕直前まで会合を10回開き詳細を詰める予定で、鷹嘴実行委員長は「来

年4月に向け、力を合わせて準備を進めたい。25周年の節目にふさわしい内容にしたい」と意欲を話した。

出品作品のテーマや形式、素材、サイズは自由。出品の申し込みは国内作家がことし8月末まで、海外作家は同12月末まで受け付ける。問い合わせは菅野事務局長、電話0765(24)98800。

## 来春の富山国際現代美術展

# 国内外66人が出品へ

魚津 来春4月28～5月6日、新川文化ホールで開催される第8回富山国際現代美術展「2018 ART/X / TOYAMA (アート・エクス・トヤマ)」のポスターもお披露目



完成したポスターを披露した実行委員会

の実行委員会が19日、同所で開かれた。完成したポスターを披露し、同日現在で国内と初参加の3カ国を含む海外10カ国の作家計66人が出品を予定していることが報告された。最終的な人数は年内に確定する。

同展は、県内作家が国内外の作家と共に現代美術に新しいムーブメントを起そうと開催する。主催する実行委(鷹嘴直実行委員長)が6月から会合を重ねて開催準備を進め、4回目の会合となるこの日、ポスターがお披露目された。千枚印刷しており、公的施設などで掲示してもらい、開催機運を高める。出品は現時点で国内41人、海外25人が予定し、スロベニアとオランダ、エジプトの作家が初めて参加。小矢部市の現代美術作家、加賀谷武さんから国内作家の初出品もある。鷹嘴実行委員長は「まだ海外から出品の問い合わせもあり、充実した内容になりそうだ」と期待した。

第1回展から25周年を迎えることを記念し、5月3日に長澤忠徳武蔵野美術大学長が講師を務める「市民のための文化講演会」を実施することなども報告された。同展は北日本新聞社共催。



# 絶えぬ創作への熱意

## 美のXを求めて アート 25周年 魚津

〈上〉

魚津市の新川文化ホールに数日前から、白いロープが張り巡らされている。「あれ、これ何?」。そんなふうに思う人もいたかもしれない。実はこれ、現代アート作品だ。ことし25周年を迎える富山国際現代美術展「2018 ART/X/TOYAMA」のため、小矢部市桜町の現代美術作家、加賀谷武さん(85)が制作した。

加賀谷さんは、同展のイベントでパネリストを務めたことはあるが、作家としては初参加。空に絵を描くように、4本のロープを張った。「見た人に驚きを届けたい。これも芸術と感じてもらえたい」。

獨創性と進化を求めて海外を巡ってきた加賀谷さんが、魚津市に

## 時代の変化

作品を設置するのは今回が初めて。「広がりのある国際展を続けてきたことに敬意を表して」のこ  
とだ。

今年と同展には県内外の40人と、10カ国の27人が出品する。実行委員長の鷹嘴直さん(71)と、事務局長の菅野純子さん(73)らが中心となって1993年に始めた当初は、スマートフォンはもたろん、インターネットもなかった。海外の作家とは手紙と国際電話で連絡を取り合った。

今、通信が便利になった一方で「交通網は複雑になった」と菅野さんは言う。北陸新幹線開通で魚津に停車するJRの特急がなくなり、格安バスなどの選択肢が増えたことで、出迎への調整は「今の方が多忙を極める」という。

とはいえ、そう話す顔も生き生きと楽しそうだ。時代は移ろっても変わらぬ創作への熱意を携えた作家たちが、間もなく魚津に集まってくる。

国内外の作家が競演する第8回富山国際現代美術展「2018



新川文化ホールをアート作品に仕上げた加賀谷さん(中央)

ART/X/TOYAMA」は28日から5月6日まで、新川文化ホールで開かれる。四半世紀の歩みと作家らの熱い思いを紹介する。

富山国際現代美術展実行委員会、新川文化ホール主催、県、魚津市、市教委、北日本新聞社共催。入場無料。屋外には加賀谷さんのほか、国内外の4人が作品を展示する。

# 家族のように支える

## 美のXを求めて アート 25周年 魚津

〈中〉

魚津市の新川文化ホールにピアノの音色が鳴り響く。4年に1度、同ホールで行われる富山国際現代美術展「ART/X/TOYAMA」の開会式は、生演奏で始めるのが恒例となっている。

2006年のオープニングは、リストの「ラ・カンパネラ」が流れた。難曲をさりと奏でたのは、トルコ在住の桑原俊介さん(48)東京出身だ。ボランティアとして展示の裏方作業やトルコの作家との通訳など、多方面で運営をサポートしている。

実行委員長の鷹嘴直さん(71)と、事務局長の菅野純子さん(73)とは2003年、トルコ行きの航空機でたまたま隣り合った。2人

## ボランティア

の熱い思いに感化され、それから同展を毎回手伝うようになった。「ラ・カンパネラ」は菅野さんの心に響き、同展を象徴する「希望の曲」になった。

桑原さんはことしも魚津を訪れ、29日の国際アートシンポジウムでは通訳を務める。「作家も地元の方々も、みんなで展覧会をつくり上げようというエネルギーが感じられる。家族のような雰囲気がある」と魅力を語る。

菅野さんは「ボランティアは隠れた出品者」と言う。海外作家はアジアや欧州など10カ国から訪れ、日本語はほとんど通じない。

「アートをよく知らなくても外国語が得意でなくても、人手はいくらあってもいい。一緒に参加して楽しむ仲間を増やしたい」。25周年を迎えることしも30人近くのボ

「2010 ART/X/TOYAMA」で通訳を務める桑原さん(左)

ランティアが、家族のように作家を迎える。



第8回富山国際現代美術展「ART/X/TOYAMA」は、28日から5月6日まで。富山国際現代美術展実行委員会、新川文化ホール主催、県、魚津市、市教委、北日本新聞社共催。入場無料。国際アートシンポジウムは29日午後2時から行う。

# 国境を越え通じ合う

## 美のXを求めて アート 25周年 魚津

△▽

使い方を聞いたりと慌たしい。25年目となる今回も初めて参加する作家が多く、すべてが新鮮に映るようだ。

合っ何か「X」がある。  
(新川支社編集部・松下奈々)

第8回富山国際現代美術展「ART/X/TOYAMA」は、28日から5月6日まで。富山国際現代美術展実行委員会、新川文化ホール主催、県、魚津市、市教委、北日本新聞社共催。入場無料。30日午後2時から子どものためのワークショップがあり、好天なら屋外展示に加わる。

「ボンジュール!」。魚津市天神野新の新川学びの森天神山交流館に25日夜、次々とフランスやロシアの作家が現れた。第8回富山国際現代美術展「ART/X/TOYAMA」が28日の開幕に向け、本格的に動き始めた。

1993年に第1回が開かれて

### あす開幕

から今年で四半世紀。2002年から4年に1度の魚津開催になって以来、県外や海外の作家は同館宿泊棟を期間中の生活の場としている。洗足学園魚津短大(同年開校)の元女子寮で、学生の合宿さながらの日々を送る。

初日は布団を運んだり洗濯機の

## 未来へつなぐ

初来日したヒジュアルアーティスト、ディミトリ・シャトーさん(スペイン)は、別の展覧会でART/Xのことを聞き、「行きたいとすぐ思った」。セメント製の足首21点(計45点)を持参。会場となる新川文化ホールの屋外に、天に向かって昇るように並べる。「多くのアーティストと出会い、日本を知ることが楽しみ」と話す。

06年からロシアに通い、作品を展示している彫刻家のサトル・タカダさん(茨城)は、ロシアの作家と会えるのを楽しみに初めて参加。「Xという展覧会名がいいね。可能性を感じる」。早速、ロシアの作家と杯を交わした。

作家が作家を呼ぶように、同展には常に新しい風が吹き込む。現代アートには、国境を越えて通じ



新川学びの森交流館で食卓を囲むタカダさん(右)や海外作家

# 時代の空気伝える113点

## 魚津で「アート/X/トヤマ」開幕

### 国際色豊か 25周年彩る

県内を含む国内外の作家67人がジャンルを超えて意欲作を発表する第8回富山国際現代美術展「2018 ART X/TOYAMA」が28日、魚津市の新川文化ホールで開幕した。自然や文化など自国の風土に根差しつつ、時代の空気を感じさせる国際色豊かな作品がそろう。初日から大勢の美術ファンでにぎわった。入場無料。5月6日まで。

【webuに写真7枚】



出品作家の解説に耳を傾ける来場者—新川文化ホール

富山の作家たちが創造の新たな波を起し、20193年に初めて開き、2002年から魚津で4年おきに開催。25周年の節目を迎えた今回は、県内の29人を含む国内40人とフランスや中国、トルコなど、海外10カ国27人の作品計113点を屋内外に展示した。

富山国際現代美術展に合わせ、国際アートシンポジウム「地域性と現代美術」が29日午後2時から新川文化ホール201会議室で開かれる。

美術評論家の清水康友さん(東京)と各国の出品作家代表らが、モダンアートと風土の関わりにつ

#### きょうアートシンポ

いて語り合う。入場無料。

30日は午前10時から、清水さんや作家と一緒に会場を巡るアートセッションを開催。午後2時から、出品作家による子どものためのワークショップ「みんなでアートしよう!」が開かれる。いずれも参加自由。

ンを紹介した時空を超えたやりとりを描いた絵画や、「ブラック化」する劣悪な労働環境を二重構造の絵で指摘した10枚組の作品など、社会への問題意識がにじむ作品も多い。前回に続いて参加したロシヤのアナ・パルメノヴァさんは「4年間の私の進化を伝えに来た」と話し、高岡市からインスタレーションを出品した旭晃子さんは「窓から入る光で変わる表情を楽しんで」と呼び掛けた。

ミラージュギャラリーでは、約200点をそろえた子どもたちの国際絵画展「2018会議室では、出品作家によるチャリティー小品展も始まった。

この記事は、webuで会員以外の方もご覧になれます。



各国の子どもたちの作品が並ぶ「子どもたちの国際絵画展」

開会式では鷹嘴直実行委員長があいさつ。今井光雄県生活環境文化部長、板倉北日本新聞社長、海外作家代表のフェリデさん、中国大使館の劉雲3等書記官、村橋晃魚津市長が祝辞を述べ、関係者でテープカットした。出品作家らによる交流会も開かれた。5月1日は休館。同実行委員会、同ホール主催、県、魚津市、同市教委、北日本新聞社共催。

# 創作と風土の関わり議論

## 10カ国作家らシンポジウム

魚津から世界へ  
アート×X/トヤマ

第8回富山国際現代美術展「2018 ART X TOYAMA」の関連事業「国際アートシンポジウム」地



域性と現代美術」が29日、魚津市の新川文化ホールで開かれた。各国出品作家が創作と風土との関わりについて意見を交わした。

フランス、中国など10カ国の作家代表や来場者ら約100人が参加。日本代表の吉川信一さん(洋画家、砺波市)は「今より遠く感じた東京や世界から人を呼ぼうと、この美術展は始まった」と話し、他の作家も創作活動を取り巻く環境について発言した。

美術評論家の「地域性と現代美術」をテーマに議論する10カ国の出品作家ら「新川文化ホール

清水康友さん(東京)は「伝統と現代をどう融合させるか、あるいは切り離すのかを考え、創作に励むべき」と述べた。若松基真水墨美術館学芸課長が進行役を務めた。同展会場でフランスの作家による身体表現のパフォーマンスもあった。同展は同ホールで、国内外の作家67人がジャンルを超えて意欲作を発表している。5月6日まで(1日休館)。入場無料。同実行委員会、同ホール主催、県、魚津市、同市教委、北日本新聞社共催。

# 作家 × 評論家 ダブル解説



清水さん(手前左から3人目)と出品作家が作品について語りながら会場を巡ったアートセッション

## 作品前で意図・評価語る

会場を巡りながらのアートセッションでは、作家が自作の制作意図などを語り、美術評論家の清水康友さん(東京)が講評した。

アンカ・クリスティアン(スロベニア)は「複数の絵を重ねる方法で自国の労働者を描いた作品を紹介。『怒りや悲し』さんの(フランス)の作品に

魚津市の新川文化ホールで開かれている第8回富山国際現代美術展「2018 ART X TOYAMA」で30日、出品作家と美術評論家によるアートセッションが開催された。

「魚津から世界へ」アート×X/トヤマとして行われ、来場者は作品に込められた思いなどへの理解を深めた。子どものためのワークショップ「みんなどアートしよう」も同ホール芝生広場で行われた。

## ワークショップ 子どもが風見鶏作る



プラスチック板を使った風見鶏作りに取り組み子どもたち

富山国際現代美術展は国内外の作家67人がジャンルを超えて意欲作を発表している。1日は休館。入場無料。同実行委員会、同ホール主催、県、魚津市、同市教委、北日本新聞社共催。

# 大胆で鮮烈 抽象画40点

## 本社ギャラリー トルコの作家3人展



魚津から世界へ  
アート×X×トヤマ  
富山国際現代美術展の関連  
企画「トルコのアーティスト3  
人展」が1日、北日本新聞ギ

ャラリーで始まった。小品中  
心ながら、鮮やかな色使いで  
鮮烈な印象を与える抽象画や  
人物画など40点が並び、4日  
まで。北日本新聞社共催。  
現代美術展は魚津市の新川

抽象画や人物画を鑑賞する海外作  
家ら「北日本新聞ギャラリー」

文化ホールで6日まで開催。  
3人展は、PRを兼ねて開い  
た。

2回目から欠かさず出品し  
ているトルコのアフメット・  
オセルさんが、作家仲間のバ  
フリ・ゲンチさんとミュフイ  
ット・イシレルさんに声を掛  
けて実現した。

会場には、アクリルや油彩  
の絵画がずらりと並んだ。オ  
セルさんの「The sou  
ls」は、人と人が出会うこ  
とで生じるエネルギーを明る  
い色彩で表現。ゲンチさんは  
太い線で大胆に女性の顔を  
表し、イシレルさんは黒い曲  
線を重ねた抽象画を発表し  
た。

初日は現代美術展に出品し  
た海外作家らも会場を訪れ、  
感想を語り合った。



村椿市長(右)と懇談する作家ら

# 出展作家が市長訪問

# 文化交流へ意欲語る

魚津から世界へ  
アート×X×トヤマ  
魚津市の新川文化ホ  
ールで開催中の第8回  
富山国際現代美術展「201  
8 ART×X×TOYAMA」  
の出展作家が2日、魚津  
市役所を訪れ、村椿市長に  
文化交流への意欲を語った。  
同展の鷹嘴直実行委員長や  
外国人作家ら計7人が訪問  
し、畠山敏一市教育長らが歓  
迎した。市長は、たてもん祭  
りを紹介しながら「伝統文化  
と新しい文化の融合の中に人  
間の発達、成長がある。皆さ  
んとの文化交流もそっだ」と  
感謝した。  
初来日のロン・ウェイエス  
さん(オランダ)は「人が温  
かい。今回の出展をきっかけ  
に、日本の作家との関係を発  
展させたい」と述べ、市長に  
自作の絵画を贈った。第2回  
から参加しているペーター・  
レーディックさん(ドイツ)  
は「多くの国の作家が参加す  
る展覧会をドイツでも開きた  
い」と話した。  
同展は6日まで。入場無料。  
同展実行委員会、同ホール主  
催、県、魚津市、同市教委、  
北日本新聞社共催。

長澤武蔵野美大学長が記念講演

# 「心の音」感じ取って



魚津が世界へ  
アート/X/トヤマ

富山国際現代美術展は富山の作家が新しい波を起こそうと1993年に初めて開き、2002年からは4年に1度、魚津で開いている。こと

## 作品鑑賞の境地説く

第8回富山国際現代美術展「2018 ART/X/TOYAMA」の25周年を記念した講演会「表現とは？」が3日、同展が開かれている魚津市の新川文化ホールで行われた。長澤忠徳武蔵野美術大学長(富山市出身)が「作品から作者の心の音を感じ取ってほしい」と話した。

「表現とは？」をテーマに語る長澤学長。新川文化ホール

富山国際現代美術展は富山には屋内外に、県内外40人と海外10カ国27人の作品計113点が並んでいる。長澤学長は自らの歩みを振り返り、「表現とは、自分しか聞こえない心の音を表現すること」と説明。「作品を無理に分かろうとする必要はない。『何かいいな』という言葉にできない感覚を大切にしたい」と語り掛けた。

行委員長)が主催。同協会員の筆と尺八演奏で幕開けし、来場した海外作家をもてなした。同展は6日まで。

### 25周年記念 —富山発信・現代美術展— 2018 ART/X/TOYAMA 第8回富山国際現代美術展

ART/X/TOYAMAは、富山県を制作拠点とする作家らによる、富山発信を旨とした現代美術の展覧会。25年目となる今回は、県内外から40名、フランスや韓国など海外から27名の作家が出展し、富山という地方都市から、世界の美術シーンの前線を発信する。



ソフィパビオウ《Zygote-2015》布・紐・セラミック

4月28日→5月6日  
新川文化ホール 富山県魚津市宮津110

アートフィールドウォーキングガイド  
月刊ギャラリー  
2018 vol.5 (第397号)

新川文化ホールで6日まで開かれている第8回富山国際現代美術展には、県内を含む国内外の作家67人がジャンルを超えて出品した意欲作113点が、屋内外に展示され、連日美術ファンでにぎわっている。初日から会場に足を運んできた県水墨美術館の学芸課長、若松基さんが展評を寄せた。

### 富山国際現代美術展を見て

県水墨美術館学芸課長 若松 基

会場に入った瞬間、何かすごいことが起きていると驚いた。おなじみの展示室が見たことのない刺激的空間になっている。25周年を迎えた富山国際現代美術展(ART X/TOYAMA)は1993年の誕生の頃から見ているが、今回の展示は極限点を超え、これまでにない別次元に至っていた。

海外10カ国から27人、県内外の国内40人の出品作家は、

### 魚津が世界へ アートX/トヤマ

新川文化ホールの大きな展示室を隅々まで工夫して使い、一部は屋外にまで広がる。地方都市で開催されるこの国際展に内外から参加している作家たちは、趣旨に賛同して自ら集まっており、各国最新の美術状況を分かりやすく示すために誰かが選んだ顔ぶれではない。国別ではなく、個々の色彩やリズム感などのパランスで作品は配列され、絵画、立体、映像などの多様な表現が、具象も抽象も入り交じって並んでいる。ここには既知

# 地域色が可能性生む

## 交流はぐくんだ熱意



大勢の美術ファンでにぎわう富山国際現代美術展—新川文化ホール

する。

### 激しく変動

開会の目には各国の出品作家に美術評論家の清水康友氏が加わり、「地域性と現代美術」をテーマにシンポジウムが開かれた。

の文脈とは全く違う作品との出会いがあり、例えば見慣れた地元作家の作品にも異国情緒めいた未知の魅力を発見して、思わずうならせられたり

気候風土はともかく政治経済は、日本を含め世界各地で激しく変動している。旧東独のザクセン地方では、それでも固有の文化が今も盛んという。観光化の進む南フランス。独立の気運が渦巻き続けるス

ペインのカタロニア地方。スロベニアは小さな国土に豊かな地域性があるが、経済の変化から貧富の差が生じ始めたという話は印象に残った。

### 自ら体感を

「現代アート」には世界的規範のまねだけとなっていく危険もあり、一度失われればもう戻れない変化もある。それぞれの違いを提示し合い、影響を与え合っていくことが重要であり、そのために芸術が政治経済から自由であることの必要性が、最後には各国から異口同音に聞かれた。

として日本の京都を訪れるのだという。

多くの国と地続きな西欧のオランダでは、アートに国境がないことほすで自明で、作家たちは手作りで発表の場を構築しているという。多くの国と接する中から生まれる交流の可能性は、極東のロシア沿海地方の作家からも提起された。一方で、ヨーロッパとアジアの間に位置するトルコの作家は、西欧化し過ぎた

はじめは小さかった国境を越えた交流の芽を、ここまでに大切に育んできたスタッフの皆さんの努力と熱意に敬意を表したい。出品作家に限らず国を超えて参加した多くの人々の手で作り上げられた今回の展示は、現代アートの可能性の広がりを示した。言葉で語りつくせぬこの達成の価値は、実際に会場に足を運び、自分の目で確かめ、体感してほしい。

第8回富山国際現代美術展(ART X/TOYAMA) 6日まで新川文化ホール。入場無料で開館時間は午前10時から午後6時まで(最終日は午後5時まで)。富山国際現代美術展実行委員会と新川文化ホール主催。県と魚津市、市教委、北日本新聞社共催。問い合わせは同ホール、電話0765(23)1123。

文化

bunkai@mak.kanippon.co.jp

—富山発信・現代美術—

第8回 富山国際現代美術展 2018 ART/X/TOYAMA

プロフィール

- 1992年3月 富山国際美術交流展実行委員会設立
- 1993年2月 '93 ART/EX/TOYAMA 第1回富山国際美術交流展 (富山県民会館美術館)
- 4月 '93 ART/EX/TOYAMA 東京展 (東京・乃木坂アートホール)
- 8月 EXPO韓・日美術交流展 (韓国 ティジョン市)
- 1994年1月 '94 ART/EX/TOYAMA 第2回富山国際美術交流展 (富山県民会館美術館)
- 1995年5月 '95 ART/EX/TOYAMA 小品展 (高岡市 ふりーすペーすエル)
- 9月 '95 韓・日現代美術展 (韓国 ソウル市)
- 1996年7月 '96 ART/EX/TOYAMA 小品展 (富山市 エルフ富山)
- 1997年1月 '97 ART/EX/TOYAMA 第3回富山国際美術交流展 (富山県民会館美術館)
- 1999年7月 ART/EX/TOYAMA 小品展 (富山市 マウ・ファインアート ギャラリー)
- 2000年5月 ART/X/TOYAMA 富山国際現代美術展に名称変更
- 7月 2000 ウラジオストク アートビエンナーレ参加 (ロシア ウラジオストク市)
- ☆2002年4月 第7回とやま国際草の根交流賞授章 (公益財団法人富山国際センター)
- 5月 2002 ART/X/TOYAMA in UOZU 第4回富山国際現代美術展 (魚津市 新川文化ホール)
- 2003年7月 2003 ウラジオストク アートビエンナーレ参加 (ロシア ウラジオストク市)
- 11月 ART/X/ in トルコーかけはしー展「日本・フランス作家参加」(トルコ イスタンブール市)
- 2004年1月 パリ 東と西の6人展・日本・フランス作家参加 (フランス パリ市)
- 9月 2004 ART/X/TOYAMA ウラジオストク友好美術小品展 (富山県民会館ギャラリー)
- 2006年4月 2006 ART/X/TOYAMA in UOZU 第5回富山国際現代美術展 (魚津市 新川文化ホール)
- ☆2007年3月 ミラージュホール文化賞授賞 (新川文化ホール振興協議会)
- 7月 2007 ウラジオストク アートビエンナーレ参加 (ロシア ウラジオストク市)
- 8月 2007 ウラジオストク アートビエンナーレ帰国報告展 (魚津市 北日本新聞新川支社ギャラリー)
- 2008年2月 ART/X/TOYAMA in 東京 (東京 銀座アーティストスペース)
- 2009年1月 2009 ART/X/TOYAMA 新春作品展 (富山県民会館ギャラリー)
- 2010年5月 2010 ART/X/TOYAMA in 魚津 第6回富山国際現代美術展 (魚津市 新川文化ホール)
- 2011年3月 ニューゼaland地震と東日本大震災の被災者を支援するチャリティー展 (富山県民会館ギャラリー A)
- ☆ 11月 魚津市文化功労表彰
- 11月 Japan art wave 2011 in New York (アメリカ ニューヨーク市) (富山国際現代美術展より6名参加)
- 2012年4月 2012 ART/X/TOYAMA 春の作品展 (富山県民会館ギャラリー)
- ☆ 9月 富山県文化功労表彰
- 2013年3月 2013 ART/X/TOYAMA in Paris (フランス パリ市)
- 6月 20周年記念 2013 ART/X/TOYAMA in 砺波 (砺波市美術館)
- 2014年5月 2014 ART/X/TOYAMA in 魚津 第7回富山国際現代美術展 (魚津市 新川文化ホール)
- 2015年5月 2015 ART/X/TOYAMA in 高岡 (高岡市美術館)
- 2016年5月 2016 ART/X/TOYAMA in 富山 (富山県民会館ギャラリー)
- 2017年5月 2017 ART/X/TOYAMA in 富山プレ展 (富山県民会館美術館)
- 2018年4月 25周年記念 2018 ART/X/TOYAMA 第8回富山国際現代美術展 (魚津市 新川文化ホール)

富山国際現代美術展実行委員会事務局

〒937-0053富山県魚津市村木町9-10

☎0765-24-9830 / FAX0765-22-8475

E-mail art@p-alpha.ne.jp

URL <http://art.p-alpha.ne.jp/>